

令和6年度第2回 岡谷市商業活性化会議

令和7年度 事業計画について

令和7年3月

岡谷市役所産業振興部商業観光課

岡谷商工会議所

岡谷市商業連合会

岡谷TMO

目 次

●令和7年度の事業について

【1】岡谷市

- ① 商業等振興補助金「中小小売店舗活性化事業補助金」（継続）
- ② オカヤペイ普及拡大事業（拡充）
- ③ 岡谷市中小企業融資制度（継続）
- ④ 中央町駐車場改修工事（新規）
- ⑤ イルフプラザ館内空調設備改修工事（新規）
- ⑥ 創業スクール（継続）
- ⑦ 空き店舗情報発信強化事業（継続）
- ⑧ テクノプラザおかや コワーキングスペース（継続）
- ⑨ おかやシェアオフィス（継続）
- ⑩ 商業のしおりの発行（継続）
- ⑪ インスタグラムを活用した商店魅力発信事業（継続）
- ⑫ 岡谷シルク商品開発促進事業（継続）
- ⑬ 学生フィールドワーク推進事業（新規）
- ⑭ 市内店舗／商業会等との定期的な意見交換（継続）
- ⑮ 岡谷TMO商業活性化事業補助金（継続）

【2】岡谷商工会議所

- ⑯ Okaya Pay事業の推進（継続）
- ⑰ 地域資源活用推進事業（継続）
- ⑱ 創業支援及び新事業創出等支援事業（継続）
- ⑲ 事業承継支援事業（継続）
- ⑳ 移住・定住促進支援事業（継続）
- ㉑ プロスポーツチーム連携による地域振興の推進（継続）
- ㉒ 市内商業施設との連携による商業振興事業（継続）

【3】岡谷TMO

- ㉓ 中心市街地の情報把握と活用（継続）
- ㉔ まちづくり人材の育成（継続）
- ㉕ 賑わい拠点の立ち上げ（継続）
- ㉖ 道路・公園等の公共空間の有効活用（継続）
- ㉗ 情報発信の強化（継続）
- ㉘ 中心市街地イベントの実施支援（継続）
- ㉙ 商業活性化補助金の交付（継続）

【4】岡谷市商業連合会

- ㉚ 商業会等に加盟する店舗を対象とした販売促進事業（継続）
- ㉛ 専門家による商店街及び個店魅力向上に向けた研修会（継続）

●令和7年度の事業について

基本戦略1 商店街魅力向上戦略

重点施策		1.商店の魅力向上に向けた支援	2.新規創業支援	3.空き店舗対策	4.店主の事業承継支援に向けた取組
めざすべきゴール		・魅力ある個店づくりのために、設備投資の支援施策や相談機能などを活用できる環境の実現。 ・買物客にとって魅力を感じられる個店、ひいては魅力あるエリア（商店街）の実現。	・毎年度一定件数の新規創業が実現し、来店者、来街者にとって新たな発見、価値を提供し続けられる商店街の実現。 ・「お店を出すなら岡谷」をめざし、他の自治体に比べて魅力的である本市の創業支援や商業環境をさまざまなメディアで発信している。	・空き店舗数の減少に努め、明るく活気のある、歩いて安全で安心な、そして楽しい商店街の実現。 ・中心市街地における空き店舗の改修事例を中心に紹介するとともに、街全体で空き店舗の利活用が図られている。	・本市で長年愛されてきたお店が途絶えない。 ・事業承継に関する啓発活動（セミナー）や次世代経営者の育成やネットワーク構築により、円滑に事業承継ができる環境の実現。
重要度／優先度		／	／	／	／
主な取組	岡谷市	①商業等振興補助金「中小小売等店舗活性化事業補助金」（継続） ②オカヤベイ普及拡大事業（拡充） ③岡谷市中小企業融資制度（継続） ④中央町駐車場改修工事（新規） ⑤イルフプラザ館内空調設備改修工事（新規） ⑥創業スクール（継続） ⑧空き店舗情報発信強化事業（継続） ⑨Instagramを活用した商店街魅力発信事業（継続） ○観光宣伝事業（継続） ○シルキーバス利用促進事業（継続）	①商業等振興補助金「中小小売等店舗活性化事業補助金」（継続） ③岡谷市中小企業融資制度（継続） ⑥創業スクール（継続） ⑧コワーキングスペース（継続） ⑨おかやシェアオフィス事業（継続） ○商業のしおり（継続）	①商業等振興補助金「中小小売等店舗活性化事業補助金」（継続） ③岡谷市中小企業融資制度（継続）（商店近代化資金） ⑧空き店舗情報発信強化事業（継続）	⑭市内店舗/商業会等との定期的な意見交換（継続） ○商業のしおり（継続）
	岡谷商工会議所	⑬Okaya Pay事業の推進（継続） ⑰地域資源活用推進事業（継続）	⑱創業支援及び新事業創出等支援事業（継続）	⑲事業承継事業（継続）	⑲事業承継事業（継続） ⑳移住・定住促進支援事業（継続）
	岡谷TMO	⑳道路・公園等の公共空間の有効活用（継続） ㉑情報発信の強化（継続）	㉒中心市街地の情報把握と活用（継続） ㉓賑わい拠点の立ち上げ（継続）	㉒中心市街地の情報把握と活用（継続） ㉓賑わい拠点の立ち上げ（継続）	
	岡谷市商業連合会	㉔専門家による商店街及び個店魅力向上に向けた研修会（継続）			

●令和7年度の事業について

基本戦略2 消費者満足度向上戦略

重点施策		5.消費者から選ばれる商店の魅力向上に向けた支援	6.市内店舗などの知名度向上に向けた情報発信の推進	7.市外からの顧客獲得に向けた取組
めざすべきゴール		・消費者の選択肢となるよう、積極的な広告宣伝活動ができる店舗。 ・顧客満足度の向上を図るため、来店者から、「ニーズ」や「困りごと」を吸い上げ、個店での展開だけではなく、商店街全体で共有できる環境の実現。 ・商業者の方々がさまざまな支援制度を活用できるよう、「商業のしおり」を発行継続している。 ・支援制度や相談機能を活用することにより、新たなニーズ把握や積極的な店舗展開ができる環境の実現。	・店舗情報や買い物情報について、従来の媒体（新聞広告など）による発信に加え、消費者が容易にアクセスできる媒体により的確な情報を提供できている。 ・インターネットやSNSについて、専門家を招聘したセミナーを開催するほか、団体での勉強会などに対しても支援し、商業者の方々が活用できている。 ・口コミの影響を活用するため、来店者の満足度向上と来店者による情報発信が促進されている。	・市外の方に対して、岡谷市内での買物情報や店舗情報を発信している。 ・市内店舗の認知度向上のため、特長ある施設の集客力を生かした回遊性を高められる取組が進められている。
重要度／優先度		／	／	／
主な取組	岡谷市	①商業等振興補助金「中小小売等店舗活性化事業補助金（経営者サポート補助金）」（継続） ②オカヤベイ普及拡大事業（拡充） ⑪Instagramを活用した商店魅力発信事業（継続） ⑭市内店舗/商業会等の定期的な意見交換（継続） ○商業のしおり（継続） ○シルキーバス利用促進事業（継続） ○駐車場運営補助金	⑪Instagramを活用した商店魅力発信事業（継続） ○広報おかやを活用した店舗紹介	⑪Instagramを活用した商店魅力発信事業（継続） ⑫岡谷シルク商品開発促進事業（継続） ⑬学生フィールドワーク推進事業（新規） ○観光宣伝事業（継続）
	岡谷商工会議所	⑰地域資源活用推進事業（継続）	○若者が働きがいのある地域づくり推進事業（継続）	⑳プロスポーツチーム連携による地域振興の推進（継続）
	岡谷TMO	㉔道路・公園等の公共空間の有効活用（継続）	㉔情報発信の強化（継続）	
	岡谷市商業連合会	㉓専門家による商店街及び個店魅力向上に向けた研修会（継続）		

●令和7年度の事業について

基本戦略3 商業組織の連携・強化戦略

重点施策		8.商業会の魅力向上に向けた取組	9.商業活性化に向けた関係者間連携の促進に向けた取組 ／市内商業者の積極的な事業活動への参画に向けた取組 ／商業振興に繋がるイベント促進に向けた取組
めざすべきゴール		・各商業会の長短所を把握し、特長を活かした商業会活動の実施と対外的な発信。 ・助け合い、協働できる商業会組織。 ・商業会の魅力向上にも繋がる新たな価値提供ができる店舗の増加。	・本市全体があたかもショッピングモールとなり、来街者の方の回遊性を高め、買物だけでなく、楽しいと思える空間となる。 ・大型商業施設と商業会、商業会同士の連携を深め、お互いの「特長」を活かした誘客促進に繋がるイベントの開催。
重要度／優先度		／	／
主な取組	岡谷市	⑮岡谷TMO商業活性化事業補助金（継続） ○岡谷市商業連合会補助金（継続） ○駐車場運営補助金（継続） ○商店街街路灯電気料等補助金（継続）	⑭市内店舗/商業会等との定期的な意見交換（継続） ⑮岡谷TMO商業活性化事業補助金（継続） ○岡谷市商業連合会補助金（継続）
	岡谷商工会議所	○商業連合会への支援（販売促進事業等の支援）（継続）	②市内商業施設との連携による商業振興事業（新規）
	岡谷TMO	②④まちづくり人材の育成（継続） ②⑨商業活性化補助金の交付（継続）	②⑨中心市街地イベントの実施支援（継続） ②⑨商業活性化補助金の交付（継続）
	岡谷市商業連合会	③①専門家による商店街及び個店魅力向上に向けた研修会（継続）	③⑩商業会等に参加する店舗を対象とした販売促進事業（継続）

その他、以下の事業も実施。

・（市）岡谷TMO運営事業負担金 ・（市）岡谷商工会議所補助金 ・（市）プレミアム商品券事業【予定】

【1】岡谷市

①商業等振興補助金「中小小売店舗活性化事業補助金」（継続）

（１）「中小小売店舗活性化事業補助金」（継続）

本制度は、空き店舗の新規改修、既存店舗の改修に要する費用及び賃借料等の一部を補助するものです。

補助対象等		補助率・限度額等
改修に要する 経費	(1)飲食店が新規創業する場合、改修等に要する経費 （改修費 50 万円以上の場合） 改修費のうち 50 万円を超える部分を補助対象とする。	補助率 2 分の 1 以内 限度額 60 万円
	(2)空き店舗の改修等に要する経費（改修費 50 万円以上の場合） 改修費のうち 50 万円を超える部分を補助対象とする。	補助率 2 分の 1 以内 限度額 50 万円
	(3)既存店舗（現に営業している店舗）の改修等に要する経費 （改修費 100 万円以上の場合） 改修費のうち 100 万円を超える部分を補助対象とする。	補助率 2 分の 1 以内 限度額 50 万円
賃借料	新規開店した日の属する月より 2 年間の賃借料 （賃借料には、敷金・礼金・共益費は含まない。）	補助率 3 分の 1 以内 限度額 1 年度 25 万円（1 事業者 50 万円） （改修費補助と併用可）

①商業等振興補助金「中小小売店舗活性化事業補助金」（継続）

（２）「経営者サポート補助金」（継続）

本制度は、コンサルタントによる経営診断や店舗診断等を実施する場合の経費を補助することにより、経営状態を見直し、商業振興の一端を担うことを目的としています。

補助対象等		補助率・限度額等
経営者サポート補助金	中小事業者等がコンサルタントによる経営診断、店舗診断等を実施する場合の診断料、旅費等	補助率 2分の1以内 限度額 10万円

★令和7年度予算額

No.	補助メニュー	積算基礎	R7予算額	No.	補助メニュー	積算基礎	R7予算額
1	新規店舗改修	限度額50万円×3件	1,500千円	4	家賃(1年目)	限度額25万円×12件	3,000千円
2	新規店舗改修(飲食店)	限度額60万円×5件	3,000千円	5	家賃(2年目)	実績	1,150千円 (▲1,050千円)
3	既存店舗改修	限度額50万円×2件	1,000千円	6	経営者サポート	限度額10万円×3件	300千円
					合 計		9,950千円 (▲1,050千円)

【 基本戦略1 重点施策1 】

【 基本戦略2 重点施策5 】



②オカヤペイ普及拡大事業（拡充）

市においても、オカヤペイの普及に向けて、行政ポイントを発行（28種類）

担当課等	ポイント付与の内容	R7予算額 (千円)	担当課等	ポイント付与の内容	R7予算額 (千円)
医療保険課	特定健診受診者	513	介護福祉課	介護予防講演会参加者	313
	【新】特定健診保健指導成果達成者			生きがいデイサービス参加者	
	人間ドック受診者			〃 新規参加登録者	
	運動療法講座受講者			新規グループ活動参加者	
健康推進課	後期高齢者健診受診者	100	環境課	新規グループ活動新規参加登録者	35
	後期高齢者人間ドック受診	30		高齢者クラブ新規参加者登録者	
	各種がん検診受診者	475		【新】介護予防活動新規登録者	
	各種健康講演会参加者	20	商業観光課	こどもエコクラブ参加者	3
	ゲートキーパー養成講座受講者	12		一斉気温測定参加者	9
	基本健康診査受診者	10		地球温暖化防止川柳入賞者	35
	禁煙外来受診者	25	こどものくに	シルキーバス回数券購入者（おでかけパスを除く）	27
	健康診査受診者	50		来館者	32
	パパママ教室参加者	17		広報おかや「広報クイズ」の正解者の中から抽選	38
	離乳食教室参加者	57	合 計		1,766

③岡谷市中小企業融資制度（継続）

岡谷市制度資金は、中小企業の皆さまが事業に必要な資金を適正・円滑調達し、商工業の振興と健全な発展をしていただくため、**市が金融機関に対して資金を預託し、金融機関を通じて低利な融資を行う制度**です。

原則として長野県信用保証協会の保証付き融資となっており、この際、事業者が保証協会に支払う保証料は、一部資金を除き、融資実行時に市で一部または全額を負担しています。

○おかやカーボンニュートラル促進対策資金（新規）

環境に配慮し、設備の設置又は改善したい、またはグリーンイノベーション市場へ参入したい中小企業者のなかで以下のいずれかに該当するもの。

①温室効果ガスの排出量の削減に寄与する設備投資に要するもの（地球温暖化対策のための、太陽光発電装置等の自然エネルギー利用設備や省エネルギー設備などを設置又は更新を要するもの。）。

②グリーンエネルギー自動車などへの更新に要するもの。

③事業所の節電及び省エネルギー対策のための設備の設置、改善及び修理に要するもの。

④グリーンイノベーション市場等の環境分野に新たに参加するために必要な施設・設備及び研究・開発に要するもので、参入事業計画が立てられる事業内容であるもの。

⑤その他、環境への負担が少ないと認められる設備及び環境保全に資する技術の研究・開発によるもの。

	貸付利率・貸付期間等
資金用途／限度額	運転・設備資金／5,000万円
貸付利率	年利 1.0%
保証料	1／2
貸付期間／返済方法	設備：10年以内(据置1年以内含)／月賦返済 運転：7年以内(据置1年以内含)／月賦返済

○原油価格・物価高騰等対策特別資金（継続）

原油価格・物価高騰等の影響を受け、企業収益が減少している中小企業者のなかで、以下のいずれかに該当するもの。

①最近3ヶ月の売上総利益率が過去3年間のうち、いずれか同期のいずれか同期の売上総利益率と比較して5%以上減少

②最近1ヶ月の売上総利益率が前年同期の売上総利益率と比較して5%以上減少し、かつ、その後2ヶ月間の見込みを含む3ヶ月間の売上総利益率が前年同期の売上総利益率と比較し5%以上減少

③セーフティネット5号を利用するものの中で、市長が認めたもの

	貸付利率・貸付期間等
資金用途／限度額	運転資金／2,000万円
貸付利率	年利0.8%→ 1.0%
保証料	全額補助(市)
貸付期間／返済方法	5年以内(据置1年以内含)／月賦返済

【 基本戦略1 重点施策1 】

④中央町駐車場改修工事（新規）

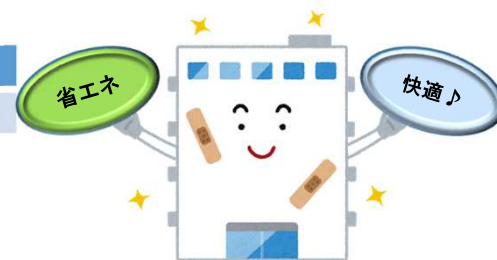
市の中心部にある施設として、本駐車場は多くの買い物客や各種施設の利用者の皆さまには、5時間まで無料でご利用いただいております。であり、このうち、天井上にある「耐火被覆材」の老朽化が進んでいるため、**長寿命化に伴う工事（事業費：70,000千円）**を行います。

【 基本戦略1 重点施策1 】

⑤イルフプラザ館内空調設備改修工事（新規）

イルフプラザの建物は平成9年9月の竣工から27年が経過し、空調設備の故障や劣化が進んでおり、**今後も中心市街地の集客施設として維持管理できるよう、館内空調設備の全面的な改修**を行います。

	令和7年度	令和8年度	合計
工事費	486,600千円	324,400千円	811,000千円



【 基本戦略1 重点施策2 】

⑥創業スクール（継続）

岡谷・諏訪・茅野・下諏訪の3市1町の自治体・商工会議所が連携して、諏訪地域で起業・創業をするために必要な実践的基礎知識を学ぶことができるスクールが令和7年度も引き続き開講されます。所定のカリキュラムをすべて受講し、かつ全体の70%以上出席した受講者は、各種支援施策が適用されます。

※岡谷市の補助制度・・・①広告宣伝支援（補助率1/2以内、限度額30万円）

②備品等購入支援（補助率1/2以内、限度額20万円）

【 基本戦略1 重点施策3 】

⑦空き店舗情報発信強化事業（継続）

空き店舗の活用と新規創業を促進するため、不動産業者、商工会議所等と連携を深め、空き店舗に関する情報を発信するとともに、新規創業希望者と空き店舗のマッチングを推進します。令和7年度も引き続き、市内の空き店舗所有者及び市内で空き店舗を活用し、創業を考えている方への支援として、ホームページでの情報発信を行うとともに、不動産業者への物件照会を行います。



⑧テクノプラザおかや コワーキングスペース（継続）

テクノプラザおかや内に設置している「コワーキングスペース」では、リモートワークやワーケーション、ソーシャルビジネスなど多様な働き方に対応し、利用の促進に関する事業などを通じ、企業誘致や関係人口の創出を推進しています。

また、イルフプラザアミューズメント施設内に設置している「おかやシェアオフィス」と連携を図り、市内で創業を希望する方向けの支援を充実させていきます。



⑨おかやシェアオフィス（継続）



イルフプラザアミューズメント施設 2 階に設置している「おかやシェアオフィス」では、近年の多様な働き方に対応し、首都圏等に拠点を置く企業のサテライトオフィスとして、新たに事業を始めるスタートアップの場所として、利用促進に関する事業などを通じ、引き続き企業誘致や関係人口の創出を推進します。

【 基本戦略2 重点施策5 】

【 基本戦略1 重点施策2 ・ 重点施策4 】

⑩商業のしおりの発行（継続）

商業者のほか、創業者や市内に出店をお考えの方に対して、利用することができる補助制度や事業承継に関する情報など各種支援メニューを掲載した『商業のしおり』を令和7年度版も引き続き発行します。

個店経営者向けの「創業」「事業継続」「事業発展」の支援メニューと、中小企業向けの金融制度や、福利厚生事業、商業会向けの支援など6項目に分け、それぞれのビジネスステージに合わせた支援内容を紹介しています。



【 基本戦略2 重点施策6 】

【 基本戦略1 重点施策1 】

【 基本戦略2 重点施策5 ・ 重点施策7 】

⑪Instagramを活用した商店魅力発信事業（継続）



令和2年8月1日からアカウント「enjoy_okaya」を開設し、市内店舗等の知名度向上と誘客促進につなげることを目的に、Instagramを活用した市内店舗情報（店舗外観や商品・サービス内容）の発信を行っています。

現在フォロワー数は**1,570**に達しました。引き続き月2～3回のペースを目標に情報を投稿し、岡谷のお店紹介や各種イベント、事業の紹介などを公開していきます。

【 基本戦略2 重点施策7 】

⑫岡谷シルク商品開発促進事業（継続）

岡谷シルクの普及促進に向けて、岡谷シルクブランド協議会で認定する岡谷シルク製品アイテムを増やし、岡谷市＝シルクのイメージPRにつなげていくため、岡谷シルクを使った新商品の開発及びデザイン費などの経費に対して、その一部を補助するものです。（事業費の1／2 ※上限20万円）また、岡谷シルクの認定商品が増えることで、来訪者へシルクの魅力を知っていただくきっかけとなるため、シルク関連の観光土産品としての販売も目指していきます。



【 基本戦略2 重点施策7 】

⑬若者・よそ者視点から岡谷の魅力を再発見 学生フィールドワーク事業（新規）



地域資源の魅力の深堀りを行うため蚕糸博物館を中心とした観光資源、地域ブランドの研究、開発などを実施する大学生等のフィールドワークを推進し、地域ブランディングに繋げていきます。

○交通費及び宿泊費に対する補助金（対象経費の1/2、上限10万円）

【 基本戦略3 重点施策9 】

【 基本戦略1 重点施策4 】

【 基本戦略2 重点施策5 】

⑭市内店舗/商業会等との定期的な意見交換（継続）

社会経済情勢の変化、経営者の高齢化や後継者不足等の課題がある中、岡谷市で長年愛されてきた店舗がなるべく途絶えることがないよう、関係団体等と連携を図り、引き続ききめ細やかに対応するとともに、経営状況の聞き取り調査についても、引き続き定期的に実施し、その結果を施策に反映するよう努めていきます。

【 基本戦略3 重点施策8 】

【 基本戦略3 重点施策9 】

⑮岡谷TMO商業活性化事業補助金

商業会、商業連合会、飲食組合など商業者が共同で実施し、以下に該当する事業で、事業費が10万円以上（会議費、飲食代を除く。）のものを対象とする。補助率は事業費の2分の1以内。

No.	事業内容	限度額	No.	事業内容	限度額
1-1	販売促進活動事業(連携)	34万円	6-1	商店街等装飾事業(連携)	34万円
1-2	販売促進活動事業(単独)	30万円	6-2	商店街等装飾事業(単独)	30万円
2	施設整備事業	32万円	7	店舗等知名度向上事業	50万円
3	商業セミナー・活性化研究事業	9万円	8	安全安心お買い物等環境整備事業	15万円
4	商店街環境整備の調査研究事業	10万円	9	まちなか活性化推進本部長の認めた事業	32万円
5	情報収集事業	9万円			

○商業関係 補助金・負担金 予算〈抜粋〉

(単位:千円)

	R6予算額	R7予算額	R8予算額	R9予算額	R10予算額	計画期間中の 予算総額
岡谷TMO商業活性化事業負担金	6, 500	6, 500	—	—	—	13, 000
岡谷TMO運営事業負担金	4, 400	4, 400	—	—	—	8, 800
岡谷商工会議所補助金	15, 390	15, 390	—	—	—	30, 780
岡谷商業連合会活動事業補助金	1, 330	1, 330	—	—	—	2, 660
駐車場運営費補助金	550	540	—	—	—	1, 090
商店街街路灯電気料等補助金	460	350	—	—	—	810
オカヤペイポイント発行事業負担金	3, 617	1, 766	—	—	—	5, 383
商業等振興補助金	11, 000	9, 950	—	—	—	20, 950
合 計	43, 247	40, 226	—	—	—	83, 473

◆この他、商業施設の大規模改修で、
・中央町駐車場改修工事 70,000千円
・イルフプラザ館内空調改修工事 486,600千円 を予算計上しています。

【2】岡谷商工会議所

⑩Okaya Pay事業の推進（継続）

限られた地域内で使うことができる電子マネー・ポイントにより、地域内経済循環サイクルを構築させ、地元商店の売上増や利用促進を目指した取り組みを推進します。また、オカヤペイを使うことが地元商店を応援するという機運を地元住民の方に持っていただき、地域と一体となった商業振興に取り組む。

・利用促進のための定期的なキャンペーンの実施

・取扱店拡充に向けた端末機導入の補助

取扱店に必要な端末機の導入に係る費用を支援する補助制度を設けることで、新たに取扱店の拡充を目指す。

・広域連携の推進

OkayaPay基幹システムを活用した広域連携の推進を図り、観光客など来訪者が地域商店に来店いただける体制の構築を目指すとともに、将来的に諏訪地域広域で利用可能な地域通貨へと発展できるよう、運営体制等について検討する。



⑰地域資源活用推進事業（継続）

シルク、味噌、うなぎ、童画等の地域資源を活用した新製品開発やブランド化、販路開拓等に向け、市や当該事業者、関係団体等と連携しながら支援する。

・岡谷シルクブランド推進事業

「岡谷シルク」を地域団体商標として取得し、地域ブランドとしての価値の向上を目指した取り組みを実施する。

・岡谷味噌事業

地域の特産品である味噌を全国へPRすることを目指し、ブランド力向上を図るとともに、味噌の歴史や発酵食品を研究する専門家や都内で営業する飲食店と協力したイベントを実施することで、地域外での認知度向上を図り、販路拡大につながる事業を実施する。

・観光資源を活用したイベントの実施

岡谷市内にある諏訪湖や鳥居平やまびこ公園、シルクファクトおかやなどのみりよくある観光資源を活用したイベント等を実施することで、地域内外から集客を図り、商業活性化に向けた取り組みを実施する。



岡谷味噌
OKAYA MISO

【 基本戦略1 重点施策2 】

⑱創業支援及び新事業創出等支援事業（継続）

創業を希望する方を対象に支援を実施する。

1. 継続個別相談支援事業（諏訪地域広域専門指導員による全4回の個別創業支援）
2. 岡谷市の創業者向け補助金申請に向けた事業計画書作成支援
3. 諏訪地域創業スクール

【 基本戦略1 重点施策3 】

⑲事業承継支援事業（継続）

市内事業者の事業承継にあたり、市や公的専門支援機関等と連携し、個別及び集団での支援を実施する。

1. 個別支援事業
2. 事業承継・引継ぎ支援セミナー事業
3. 個別相談事業

【 基本戦略1 重点施策4 】

②0 移住・定住促進支援事業（継続）

岡谷市役所ブランド推進室を始め、岡谷市役所内の関係課と当所が事務局を務める岡谷市ブランドプロモーション協議会にて、移住・定住促進に向けた事業を実施する。

- ・出張！信州OKAYA食堂（域外向けプロモーション事業）
- ・市内飲食店を活用した地域情報発信、交流イベント（域内向けプロモーション、移住者との交流事業）

【 基本戦略2 重点施策7 】

②1 プロスポーツチーム連携による地域振興の推進（継続）

長野県内を拠点として活動するプロスポーツチームは、地域に根差した活動をしており、また競技によっては会員事業所に社員として所属する選手もいる。そのため、各スポーツチームと連携を図り、地域振興に向けた取り組みを実施する。

1. 松本山雅FCとの連携

山雅後援会岡谷支部と共同でイベント等を実施。ファン、サポーターが参加する形式で実施する。

- ・公式戦アウェイ観戦イベント（NPO法人維新塾主催）

※地元商店の利用促進を兼ねた取り組みとして実施。令和7年度は岡谷市商業連合会とも連携を図る。

②市内商業施設との連携による商業振興事業（継続）

岡谷市の特徴として、まちの中心地に商業施設が存在していることが大きな強みとなっている。このような施設との連携を図り、商業振興の取り組みを実施する。

1. まちなかマルシェ@レイクウォーク岡谷

レイクウォーク岡谷を会場に、姉妹都市の特産品フェア等を開催。

＊ 令和7年5月7日(水)～11日(日)開催予定



2. まちなかマルシェ@ものづくりフェア

イルフプラザを会場に、市内飲食店を中心とした弁当等の販売イベントを開催。（ものづくりフェア同時開催）



【3】岡谷TMO

②③ 中心市街地の情報把握と活用（継続）

1. 空き家・空き店舗等の物件情報の収集と整理

中心市街地に存在する空き家・空き店舗の情報を収集・更新し、データベース化を進める。
また、所有者に対し意向確認等を行い、空き家・空き店舗の有効活用に向けた取組みを進める。

2. 出店希望者の掘り起こし

中心市街地の空き家・空き店舗を対象とした「空き家見学会・まちあるき」を年6回、隔月にて開催する。

空き家等の物件紹介だけでなく、まちの特長や魅力、新規出店事例なども交えた、まち歩き要素を強めた親しみやすい見学会とすることで、参加者の敷居を下げ、より多くの人の参加を促し、出店希望者の掘り起こしにつなげる。



【 基本戦略3 重点施策8 】

②④まちづくり人材の育成（継続）

中心市街地を含むまちづくり取り組み体制構築の推進

まちづくり会社の設立や、その実施事業等の検討のため、国や県などの各種補助制度を活用し、専門家からアドバイスをいただきながら、地域の持続的発展を実現するために適切な体制づくりを進めて行く。

小商いやッテミレバ！との連携

辰野町〇と編集社と連携し、まちも一緒に育てる女性向け小商い（＝スモールビジネス）講座を開催し、人材の発掘・育成を行う。

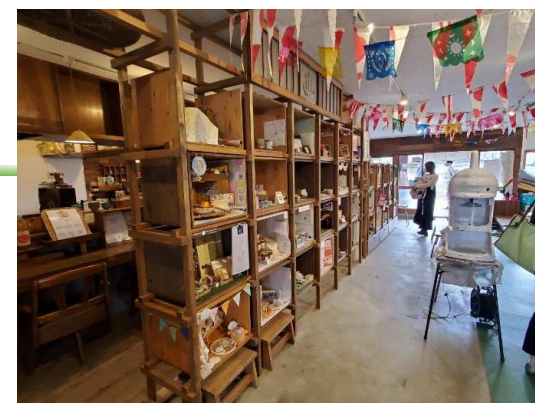


【 基本戦略1 重点施策2 ・ 重点施策3 】

②⑤賑わい拠点の立ち上げ（継続）

賑わい拠点の活用検討

拠点候補地であるカネイチビル1階の活用に向け、NPO法人維新塾と合同で先進地視察や、活用に向けたワークショップ等を実施する。



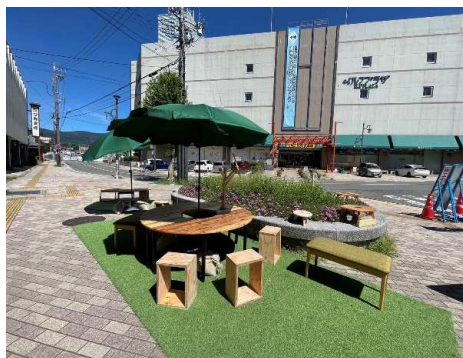
②⑥道路・公園等の公共空間の有効活用（継続）

Park Design Labの開催

Park(ing)Dayの手法を参考に、県内外の学生や空間づくり・まちづくりに興味のある方を募り、屋外空間活用に係る研修会を開催、受講者自らが「過ごしたい空間」を考え実現する「Park Design Lab（パークデザインラボ）」を継続開催する。

本事業により、岡谷駅周辺を含む中心市街地における屋外空間の活用方法を検証するほか、受講者が空間づくりやまちづくりに興味を持ち、今後の中心市街地活性化を担うプレイヤーとなることを狙う。

【令和6年度実施の様子】



②⑦情報発信の強化（継続）

【 基本戦略2 重点施策6 】

LCV-FMでの商店及び地域情報発信

LCV-FMを活用した情報発信を引き続き実施し、商店主を招いた個店の情報発信のほか、各種イベント等のPRも行う。



②⑧中心市街地イベントの実施支援（継続）

【 基本戦略3 重点施策9 】

岡谷きつね祭などの商業会イベントの支援

関連団体と連携し、イベント内容の検討や、開催に向けた準備等の支援を行う。



②⑨商業活性化補助金の交付（継続）

【 基本戦略3 重点施策9 】

補助制度の事務対応

各商業会等が実施する市内商業振興や商店街整備などの取り組みを対象に、予算の範囲内にて補助金の交付を行う。

【4】岡谷市商業連合会

【 基本戦略3 重点施策9 】

③⑩商業会等に参加する店舗を対象とした販売促進事業（継続）

令和6年度及び過去に実施した販促事業の取り組みを活かして、各商店にとって参加メリットがある事業を企画する。
また、買い物いただく消費者にも楽しんでいただけるような内容を検討する。

【 基本戦略3 重点施策8 】

③⑪専門家による商店街及び個店魅力向上に向けた研修会（継続）

商店街の今後のあり方の検討や来街者増加に向けた取り組みを検討するため、外部人材（専門家）を招聘した研修会を企画・実施する。商店街の組織体制や運営方法などを学ぶことで、今後の商店街あり方や、まちにとって必要な商店街になることを目指した事業が検討できる手法を学ぶことを目的とする。